

平成30年度長崎県食育推進活動表彰 = 受賞者紹介 =

7月31日に授賞式を行いました。この賞は、社会的貢献度が高く、他のモデルとなる実践的な食育活動に取り組んでいる個人及び団体に対する長崎県知事表彰です。

●山下 登さん

長崎市立南小学校の生徒を対象に、地域や子ども達にとってつながりの深い「びわ」の栽培を通して、地域を愛し、誇りを持つ気持ちを次世代へ継承する活動をしています。子ども達はびわの育て方や歴史を学び、生産、収穫、調理までの幅広い学習を地域の方や他校の子ども達と交流しながら行うことで、他者と関わる力が育まれています。活動は10年以上続けられており、地域に住む農協青年部の方にも継承され、今後も継続して行われることが期待されます。

●平戸市食育推進会議

「平戸市の伝統的な食文化を継承し、食に関して正しい知識と判断力を身につけ、健全な食生活の実践により、心身ともに健康で生き生きとした生涯を送ることができる市民を育てる」ことを基本理念に、家庭、地域、学校、保育所、生産者等、幅広い関係機関、団体等と連携、協力を図りながら食育推進事業を実施しています。

特に、小、中・高生を対象とした「食育コンテスト」は、豊かな自然で育まれた地元の食材を知り、生産・加工の段階から「食」について考える事ができるようなコンテスト内容となっており、テーマを変えながら毎年実施していく事で「食」が育む心と身体の成長を感じる事ができる取組となっています。

●農事組合法人サンエスファーム

消費者に安心してしいたけを食べてもらうためには、生産プロセスの公開が必要との考えから、平成22年3月の創業時より、工場見学を通じた食育活動に積極的に取り組んでいます。

また、専門知識を持つ「きのこマイスター」を中心に企業全体で食育情報の発信に取り組んでおり、平成25年9月からは工場敷地内に直売・カフェ施設「みなんめキッチン」をオープンし、これまでになかったメニューでしいたけの魅力を上げると共に、消費者の声を聴きながら新しい商品の開発や健康効果の高い食べ方を伝えるなど、食育活動に日々取り組んでいます。

●川棚町食生活改善推進協議会

昭和62年の協議会発足以来、30年以上に渡り、食を通じた地区活動に取り組んでいます。ふれあい農業体験学習では、講話や試食の実施による地産地消、愛育食育フェスティバルでは、親子でのみそ作り体験を通じた和食の推進に取り組んでおり、特に親子料理教室では、学校・PTA、給食センター、ボランティア団体と連携を密にし、郷土料理についての講話や、調理実習を行い、子ども達に向けた食育活動を実践しています。

●佐々町地域婦人会

平成23年度から地元の小学校3年生の児童と共に、食育活動を開始され、児童の家庭や給食調理室から出る生ごみや、婦人会がスーパーや飲食店から集めた生ごみを合わせて作った堆肥を利用して野菜を作り、その野菜で調理実習を行うという、環境・食育活動を行っています。

婦人会を中心として学校・家庭・地域が連携して野菜くずから新たな命を持った野菜を作りだすことで、子供たちが食べ物や生命の大切さを実感する機会を提供し、子ども達の学びを育む役割に大きく貢献しています。

【前 列】

～左～
山下 登さん

～中央～
上田副知事

～右～
佐々町地域婦人
連絡協議会



【後 列】

～左側～
平戸市食育推進会議

～中央～
サンエスファーム

～右側～
川棚町食生活改善
推進協議会